

2021年度 第一回 阪大本番レベル模試 国語（人外法経）採点基準

Ⅰ 文（文章）で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。

b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。

ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。

c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点（独立採点）すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

a 答案中に大きな誤読と判定される内容（語句）などがある場合は、その内容（語句）を減点要素として示されている場合もあります。

b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b 脱字。

c 文末の句点の脱落。

* 字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。

たとえば「…とはどういうことか？」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。

また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

* ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。

また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。

b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。

c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたもの。

d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

■採点の原則

- ① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文(章)の体をなしていないと判断される場合は、要素の有無に関係なく0点とする。
- ② 文脈のねじれがある、また主述の対応に問題があると判断される場合は、要素ごとに加点した上で、全体から2点減点する。
- ③ 漢字の誤り、送り仮名の誤り、句点の抜けについては、一つごとに1点減点する。

□ (50点)

問一 各2点 解答通り

- (a) 慈愛 (b) 紳士 (c) 店舗 (d) 漫画 (e) 満喫

問二

■形式上の不備

- ・文末表現は要素F参照

基準 配点12点

■模範解答例

* A

パノプティコンは、刑務所の劣悪な環境を改善し、絶えず監視されているという意識を囚人に持たせて生

B

C D E

活の規律化を促し、刑務所の監視コストを最小限に抑えることで、大多数の囚人と監視する人間に幸福を与

えたから。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百字以内 四十九字以下のものは全体不可(0点)

* 設問の問い方からすると「パノプティコンは」という主題提示はなくても可。

■要素A 「刑務所の劣悪な環境を改善し」…3点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B 「絶えず監視されている」という意識を囚人に持たせて」…2点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C 「生活の規律化を促し」…2点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。

・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D 「刑務所の監視のコストを最小限に抑える」…3点

・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。

・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E 「大多数の囚人と監視する人間に幸福を与えた」…2点

・「大多数の」は無くても可。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。

・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素F 文末形式は「∴ので・から」が原則であるが、設問の求める理由説明の形になっていると判断で

きれば許容してよい。不適切と判断される場合は1点減点。

■形式上の不備

- ・文末表現は要素H参照

基準 配点18点

■模範解答例

A ①
B
C
 自然権思想の観点に立つと、欲しいものの買い占めは、自己の労働で獲得した正当な財産を処分する行為で
D
A ②
E
 あり、神聖不可侵の権利行使としては是認されるが、功利主義の立場では、同じ商品の入手を望む他者の幸福
F
G
 を奪う行為であり、最大多数の最大幸福の実現を妨げているという点で、その権利行使は制限されるべきで
 あるとされる。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百五十字以内 七十四字以下のものは全体不可(0点)

■要素A ①「自然権思想の観点に立つと」②「功利主義の立場では」…2点

- ・ 答案の中で「自然権思想」と「功利主義」の対比であることが明示出来ているか否かを吟味し、出来れば可。
- ・ 対比が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B 「欲しいものの買い占めは」…1点

- ・ 「買い占め」という行為に関する説明である事が分かりさえすればよい。

■要素C 「自己の労働で獲得した正当な財産を処分する行為であり」…3点

- ・ 「自己の」はなくても可。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・ 「労働で獲得した」を欠く場合は2点。
- ・ 説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D 「神聖不可侵な権利行使として是認される」…3点

- ・ ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・ 「神聖な」または「不可侵な」はどちらかがあれば可。
- ・ 「神聖」と「不可侵」どちらも欠いていて「権利行使」という語だけの場合は2点。
- ・ 説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E 「同じ商品の入手を望む他者の幸福を奪う行為であり」…4点

- ・ ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・ 説明が曖昧であると判断される場合は2点とする。

■要素F 「最大多数の最大幸福の実現を妨げている」…3点

- ・ ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・ 説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素G 「その権利行使は制限されるべきである」 ∴ 2点

- ・ ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・ 説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素H 設問の求める「『自然権思想』と『功利主義』との考え方の違い」を説明する答案の形式を備えていれば広く許容してよい。不適切な答案形式であると判断される場合は1点減点。

問四

■形式上の不備

- ・文末表現は要素E参照

基準 配点10点

■模範解答例

A

功利主義は多数者の幸福のための少数者の抑圧を正当化したりはしないが、分配できる財が限られている時

C

D

B

には、切実性の低い人を切り捨てるという非情な決断も迫られるから。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…八十字以内 三十九字以下のもは全体不可(0点)

■要素A「功利主義は多数者の幸福のために少数者の抑圧を正当化したりはしないが」…3点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・功利主義が多数者の幸福実現を追求することだけ示されている場合は、やや曖昧として2点。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「分配できる財が限られている時には」…3点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「切実性の低い人を切り捨てる」…2点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「非情な決断も迫られる」…2点

- ・「非情」に近いニュアンスが示されていれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E 文末形式は「…ので、…から」が原則であるが、設問の求める理由説明の形になっていると判断で

きれば許容してよい。不適切と判断される場合は1点減点。

問一 各2点 解答通り

- (a) 氾濫 (b) 妥当 (c) 就学 (d) 飛躍

問二

■形式上の不備

- ・文末表現は要素G参照

基準 配点14点

■模範解答例

A
アニメズムも擬人化も そのメカニズムは、直面した未知の事物・事象についての人間をベースとした写像
B
であるが、それは幼児の未熟で未発達な思考の現れではなく、人間との類似、人間についての過去の評価に
D
基づく合理的な類推であるから。
E
F

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百十字以内 五十四字以下のものは全体不可(0点)

■要素A「アニメズムも擬人化も」…1点

- ・「アニメズム」「擬人化」という語を明示して、それらに言及していれば可。

■要素B「直面した未知の事物・事象についての」…2点

- ・「事物・事象」は「事・こと」などでもよく、ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「人間をベースとした写像である」…2点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「幼児の未熟で未発達な思考の現れではなく」…3点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E「人間との類似、人間についての過去の評価に基づく」…3点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・「人間との類似(度)」と「人間についての過去の評価」のいずれか一つだけ示されている場合は2点。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素F「合理的な類推である」…3点

- ・ ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・ 「類推」を欠く場合は2点。
- ・ 説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素G 文末形式は「∴ので・から」が原則であるが、設問の求める理由説明の形になっていると判断できれば許容してよい。不適切と判断される場合は1点減点。

■形式上の不備

- ・文末表現は要素D参照

基準 配点16点

■模範解答例

A

類推能力は子どもの成長と共に発達し、小学校高学年くらいで四項類推の課題を達成できるようになるとい

B

う通説に対し、左辺の二項の関係を抽出するのに必要な知識に年齢差があるだけで、左辺の関係を右辺に写

C

像する能力の未発達によるものではないと考えている。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百二十字以内 五十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A「類推能力は…」という通説」…4点

* 筆者の批判の対象となる「通説」の説明。

・「子どもの類推能力は成長と共に発達する」ということが明確に説明できていれば3点とする。

・前項に加えて「四項類推が達成できるようになるまで年月がかかる」ということも説明できていれば4点とする

・説明が曖昧であると判断される場合は2点。

■要素B「左辺の二項の関係を抽出するのに必要な知識に年齢差がある」…6点

・「知識の年齢差」ということが明確に示され、ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。

・説明が曖昧であると判断される場合は3点。

■要素C「左辺の関係を右辺に写像する能力の未発達によるものではない」…6点

・「子どもの(類推)能力の未発達によるのではない」ということが明確に示され、ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。

・説明が曖昧であると判断される場合は3点。

■要素D 設問の「筆者は…どのように考えているのか」という問いに対する答案の形になっていること。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

■形式上の不備

- ・文末表現は要素G参照

基準 配点1・2点

■模範解答例

A B

事物を比較し、類推によって共通の関係、構造を見出し、その構造、関係の抽象的な図式を言語化して一般

D E

的な事象に適用していくというのが人間という種に固有の発達であるから、発達の前提には類推があるとい

C

F

うこと。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百字以内 四十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A「事物を比較し」…2点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「類推によって共通の関係、構造を見出し」…2点

- ・「見出す」は「ハイライトする」でもよく、ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「構造、関係の抽象的な図式を言語化し」…3点

- ・「図式」は「スキーマ」でもよく、ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「一般的な事象に適用していく」…2点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E「人間という種に固有の発達である」…1点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。

■要素F「発達の前提には類推がある」…2点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素G「…こと」という文末形式が原則。但し、設問の求める内容説明の形になっていると判断できれ

ば許容してよい。不適切と判断される場合は1点減点。

★2021年度 第一回 阪大本番レベル模試（人外法経）

【目】（古文『落窪物語』）採点基準

※ 50点満点

問一（a） 傍線部を現代語訳しなさい。

基準 配点 2点

〔傍線部〕

A2 言ひそめたまひてけれ

〔模範解答〕

A2 言い寄り始めなされた

採点方法 各要素単独採点。

字数 指定なし。

〔ポイント〕

要素 **A【2点】** 言ひそめたまひてけれ ↓ 言い寄り始めなされた

※ 「言い寄る」は「求愛する・求婚する・交際を求める・口説く・語りかける」等でもよい。

右の意が無い場合は×。「言う・言い寄って来る」は×。

※ 「言い寄る」＋「始める」＋尊敬（くなさる・おくになる）＋完了・過去（くた）、で **【2点】**。

「くれる・られる」は受身の意にもとれるので、尊敬の訳としては×。

※ 尊敬と完了・過去の一つが欠けるたびに **マイナス1点**。

※ 解答の末尾の句読点の有無は不問。

問一 (b) 傍線部を現代語訳しなさい。

基準 配点 2点

「傍線部」 A2 心あしくて、

「模範解答」 A2 性質が悪くて、

採点方法 各要素単独採点。

字数 指定なし。

「ポイント」

要素 A 【2点】 心あしくて、 ↓ 性質が悪くて、

※ 「性格が悪くて・意地が悪くて(意地悪で)・性悪で」でもよい。

「機嫌が悪くて・気分が悪くて・病気で」等は×。

※解答の末尾の句読点の有無は不問。

問一 (c) 傍線部を現代語訳しなさい。

基準 配点 2点

「傍線部」 A2 おとづれたまはで、

「模範解答」 A2 お便りをなさらないで、

採点方法 各要素単独採点。

字数 指定なし。

「ポイント」

要素 A【2点】 おとづれたまはで、 ↓ お便りをなさらないで、

※「お便りをする」は「手紙を送る・手紙を出す・連絡する」等でもよい。

※「お便りをする」+尊敬(く)なさる・おくになる) +打消接続(く)ないで・くなくて・くず(く)で【2点】。

※「訪問する・訪ねる」となっている場合はマイナスポイント。

※尊敬と打消接続の一つが欠けるたびにマイナスポイント。

※解答の末尾の句読点の有無は不問。

問一 (d) 傍線部を現代語訳しなさい。

基準 配点 2点

〔傍線部〕 A2 とみにて

〔模範解答〕 A2 急な用事で

採点方法 各要素単独採点。

字数 指定なし。

〔ポイント〕

要素 A 【2点】 とみにて ↓ 急な用事で

※ 「急用で・急ぎで・急ぎのことで・急なことで・急いで・急で」等でもよい。

※ 「で」が「であって」と為っている場合は【1点】。

※ 解答の末尾の句読点の有無は不問。

問二 和歌(A)について、比喻表現や修辞を踏まえて、よみ手の心情を説明しなさい。

基準 配点 7点

〔該当和歌〕

A2

天の川雲の掛け橋

B5

いかにしてふみみるばかりわたしつづけむ

〔模範解答〕

A2

天の川の橋の掛け方がわからないように、

B5

姫君から返事をもらい、姫君に会った

めにどう手紙を送り続けたらよいかわからないと悩む心情。

採点方法 基本的には各要素単独採点。ただし、**〔条件〕**がある場合は、それに従って下さい。
字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

〔ポイント〕

※心情の主体である「少将」の有無は不問。

要素A【2点】天の川の橋の掛け方が分からないように、

※「**比喻表現や修辞を踏まえて**」は「**説明せよ**」ではないので、**比喻表現や修辞の具体的な説明は、内容・成否に関わらず不問とする。**

※Bに「わからない」の意がない場合は**得点できない**。Bが0点でもかまわない。

※「天の川の橋の掛け方（渡し方）が分からないように」の意があればよい。

要素B【5点】姫君から返事をもらい、姫君に会うためにどう手紙を送り続けたらよいか分からないと悩む心情。

※「送る」は「書く」等でもよい。「続ける」の意はなくてよい。「どう」は「どのような」でもよい。

※①「姫君から返事をもらうために（返事をもらえるまで）どう手紙を送ったらよいか分からない」の意があれば【5点】。

※②「手紙の送り方」の意がない「姫君からの返事のもらい方がわからない・姫君からの返事のもらうにはどうしたらよいかわからない」は【4点】。

※③①・②の意がなく「姫君に会うために（交際を認めてもらうために）どう手紙を送ったらよいか分からない」の意がある場合は【4点】。

※④「手紙の送り方」の意がない「姫君に会う方法がわからない」は【3点】。

※①〜④の意がなく、「姫君から返事をもらいたい・姫君から返事をもらえず悲しい」の意がある場合は【3点】。

※①〜④の意がなく、「姫君に会いたい・姫君に会えず悲しい」の意がある場合は【2点】。

※「（手紙の書き方・会い方が）分からない・（返事がもらえず・会えず）悲しい・返事をもらいたい・会いたい」のような不足感がなく、強い意志等が示されている「姫君が手紙を見るまで和歌を送り続けようとする心情」等は×。

※それぞれ「姫君」の意がない場合は**マイナス2点**とする（「姫君」の意は全体から読み取ればよい）。「あなた」は「姫君」の代わりにならない。

※「悩む」の有無は不問。

問三 傍線部について、その答えを少将と帯刀はどのように推測しているのか、一〇〇字以内でまとめて説明しなさい。

基準 配点 一一点

「傍線部」 などは、はかなき返事をだに絶えてなき

「模範解答」 **A3** 姫君が、意地悪な継母の「自分の許さないことはさせない」という言葉を怖れ、**B2** 何かと遠慮せざるをえない生活を強いられており、**C3** 恋文も見慣れていないので、**D3** 返事のしかたがわからないのではないかと推測している。(九八字)

採点方法 各要素単独採点。

字数 一〇〇字以内。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

「ポイント」

※「少将は、……、帯刀は……」のように分けてかいていてもよい。ただし、「少将は、……」で説明されているべきは**B・C・D**の内容、「帯刀は、……」で説明されているべきは**A**の内容でなくてはならない。これに誤りがある場合は「少将は、……」、「帯刀は……」の箇所それぞれで**マイナスポイント**。

要素**A【3点】** 姫君が、意地悪な継母の「自分の許さないことはさせない」という言葉を怖れ、

※「継母が許可しないことをするのを恐れているから」の意が読み取れば**【2点】**。

※右の意がある上で、継母が「意地悪だ・性格が悪い」の意があれば**【3点】**。

要素**B【2点】** 何かと遠慮せざるをえない生活を強いられており、

※「遠慮のある生活をしているから・何かと遠慮があるから」の意が読み取ればよい。

要素**C【3点】** 恋文も見慣れていないので、

※「恋文(男からの手紙)も見慣れていないから」の意があれば**【3点】**。

※「恋文(男からの手紙)」が、恋愛に関するものであることが不明な、単なる「手紙」等となっている場合は**【2点】**。

要素**D【3点】** 返事のしかたが分からないのではないかと推測している。

※「返事のしかたが分からないから・返事のしかたを知らないから」の意が読み取ればよい。

問四 (ア) 傍線部をわかりやすく現代語訳しなさい。

基準 配点 7点

「傍線部」

(A)

B

「我をみそかに」

C

と言ひわたりたまへば、

(D)

E

いなびがたくや

ありけむ、F いかで G と見ありく。

「模範解答」

A

少将は

B

「私を密かに姫君に逢わせよ」

C

と言ひ続けなされるので、

D

帯刀は

E

I 断りがたかつたのだろうか、F 何とかしよう G と機会をうかがって過ごす。

採点方法 基本的には各要素単独採点。ただし、「条件」がある場合は、それに従って下さい。

字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

「ポイント」

要素 A【一点】 (補い) ↓ 少将は

※ C に「言う」(おっしゃる・命ずる・伝える)「の意がない場合は得点できない。C が 0 点でもかまわな

い。

※ 「は」は「が」でもよい。

要素 B【一点】 「我をみそかに」 ↓ 「私を密かに姫君に逢わせよ」

※ 「密かに」は「内緒で・内密に・こっそり」等でもよい。

※ 「姫君に逢わせよ」は「姫君のところへ連れて行け・姫君に逢えるように手引きせよ」等でもよい。

※ 「姫君に逢わせよ」の補いのない「私をひそかに」は X。

要素 C【一点】 と言ひわたりたまへば、 ↓ と言ひ続けなされるので、

※ 「言う」は「おっしゃる・命ずる・伝える」等でもよい。

※ 「言う」(おっしゃる・命ずる・伝える)「+ 続ける」+ 尊敬(おくなる・なされる)「+」ので「で

【一点】。一つ欠けたら X。

※ 「言う」が「おっしゃる」になっている場合は、右の尊敬のポイントを含んでいるものとする。

要素 D【一点】 (補い) ↓ 帯刀は

※ E に「断れない」の意がなく、G に「見る・うかがう」の意がない場合 (E・G 両方ない場合) は得点

できない。E・G が 0 点でもかまわれない。

※ 「は」は「が」でもよい。

※ 文意から帯刀が「断れない」や「見る・うかがう」の主体わかる書き方であれば「は」は他の表現でも

よい。

要素 E【一点】 いなびがたくやありけむ、 ↓ 断りがたかつたのだろうか、

※ 「断りたい」は「断れない・断りにくい・断りづらい」でもよい。なお、「断る」は「拒否する」等でもよい。

※ 「断りたい」(断れない・断りにくい・断りづらい)「+ 過去推量」「たのだろう」+ 疑問「か」で【一

点】。一つ欠けたら X。

要素 F【一点】 いかで ↓ 何とかしよう

※ 「何とか」は「どうにか・どうにかして・何とかして」でもよく、「しよう」は「会わせよう・連れて行

こう・手引きしよう」等でもよい。

要素G【一点】と見ありく。 ↓ と機会を窺って過ごす。

※「機会を窺って過ごす」は「機会をうかがう・様子をうかがう」、または「見て回る・様子を見て回る・あちらこちら見る」等でもよい。

問四 (イ) 傍線部をわかりやすく現代語訳しなさい。

基準 配点 7点

「傍線部」 (A1) B2 思うたまへ忍びつれど、 C2 さてもえあるまじかりければなむ。 (D1) E
I 人わろく

「模範解答」 A1 手紙を書くのを B2 我慢しておりましたけれど、 C2 書かずにいられそうになかった
ので D1 書きました。 E1 みっともないことでございます

採点方法 基本的には各要素単独採点。ただし、**【条件】**がある場合は、それに従って下さい。
字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

「ポイント」

要素 A 【1点】 (補い) ↓ 手紙を書くのを

※ Bに「我慢する・堪え忍ぶ」の意がない場合は得点できない。 Bが0点でもかまわない。

※ 「手紙を送るのを」等でもよく、また、「あなたへの思いを・姫君への思いを」等でもよい。

要素 B 【2点】 思うたまへ忍びつれど、 ↓ 我慢しておりましたけれど、

※ 「我慢する」は「堪え忍ぶ」等でもよい。

※ 「我慢する(堪え忍ぶ)」+丁寧(〜です・〜ます)+完了(〜た)+逆接(〜けれど・〜けれども・
〜が)で【2点】。

右の丁寧・完了・逆接のうち一つ欠けるごとにマイナス1点。

要素 C 【2点】 さてもえあるまじかりければなむ。 ↓ 書かずにいられそうになかったので

※ Aが得点できている場合は、「そうしていられそうになかったので・我慢できそうになかったので」でも
よい。

※ 「そう」がない「書かずにいられなかったので」や、過去(〜た)がない「書かずにいられないので」
でもよい。

※ 「書かずにいられない(そうしていられない・我慢できない)」+「ので・から・ために」で【2点】。
「ので・から・ために」ができていない場合はマイナス1点。

要素 D 【1点】 (補い) ↓ 書きました。

※ 「書く・書いた・したための・したためた・送る・送った」等でもよい。丁寧(〜ます)や過去(〜た)
の有無は不問。

要素 E 【1点】 人わろく ↓ みっともないことでございます

※ 「みっともない・見苦しい・人聞きが悪い・外聞が悪い・体裁が悪い」等の意があればよい。

※ 「返事を下さらないのは人聞きが悪いことだ」のように、相手(姫君)の態度について言っているよう
に書かれている場合は×。

※ 「情けない・惨めだ・悲しい・つらい」等は×。

問五 和歌(B)について、何が「かき絶え」るのかと、「つらさ」の原因を明らかにして現代語訳しなさい。

基準 配点 10点

「該当和歌」 (A2) (B1) かき絶えて (C2) やみやしなまし (D2) (F2) つらさのみいとど (E1) ます田の池の水茎

「模範解答」 (A2) あなたに手紙を書くのは (C2) やめて、 (B1) これきり (C) 終わりにしてしまおうかしら。 (D2) あなたから御返事をいただけないので、 (E1) 益田の池の「ます」ではありませんが、 (F2) つらさばかりがますます増すことですよ。

採点方法 基本的には各要素単独採点。ただし、**[条件]**がある場合は、それに従って下さい。
字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

「ポイント」

要素A【2点】(補い) ↓ あなたに手紙を書くのは

※Cに「終わりにする・やめる・これきりにする」の意がない場合は得点できない。Cが0点でもかまわない。

※「手紙は」等でもよい。

※「あなたに」はなくてもよく、「姫君に」でもよい。他の人物への手紙となっている場合はマイナス。

要素B【1点】かき絶えて ↓ これきり

※Cに「終わりにする・やめる」の意がない場合は得点できない。Cが0点でもかまわない。

※「まったく・きっぱりと・すっかり・すべて」等、Cの「終わりにする・やめる」を強める表現であればよい。

要素C【2点】やみやしなまし ↓ やめて、 ↓ 終わりにしてしまおうかしら。

※「やめて、 ↓ 終わりにして」は、「終わりにして・やめて・これきりにして」でよい。

※「しまう」がない「終わりにしようかしら・やめようか」等でもよい。

※「かしら」は「か」でもよい。「かしら」も「か」もついていない場合はマイナス点。

※意志の意「くしよう」がない「やめます」などは×。

要素D【2点】(補い) ↓ あなたから御返事をいただけないので、

※Fが0点の場合は得点できない。(ただし、誤字等で0点になっている場合は除く)

※「返事がないので・返事がもらえないので」の意があればよい。

※「あなたからの」はなくてもよく、「姫君からの」でもよい。

要素E【1点】ます田の池の水茎 ↓ 益田の池の「ます」ではありませんが、

※Fが0点の場合は得点できない。(ただし、誤字等で0点になっている場合は除く)

※「池」や「水茎(筆・筆跡・文字・手紙)」の訳出の有無は、その内容の成否に関わらず不問。

※Fの「益田のますではないが」の意があればよい。

※「益田の池の水茎のように・益田の池の水茎ではないが」等は×。

要素F【2点】つらさのみいどぐます ↓ つらさばかりがますます増すことですよ。

※「ばかり」「ことですよ」「はなくてもよい」。

※「つらさが増す増す」の意があれば【2点】。

※「ますます(いよいよ)がない」「つらさが増す」は【1点】。